

モニター通信 No.5

皆さんから寄せられた「モニター通信1月分」を紹介します。

「製品(商品)を購入するときの支払い方法」 ～現金払い・クレジットカード払い・電子マネー払いの使い分け方～

モニターから No.1

昨年12月22日に「消費者の未来を考える」というテーマの講演会で、宮川俊二さんの話を聴きました。宮川さんは先ず「自立した消費者になる必要がある」と述べられ、ご自身の消費者としての体験も話されました。

講話を聴いてから、自立した消費者とはどのようなものなのか、私自身そうなるためにはどうすればよいのか考えていました。そうしていた時に、あるベビーカーのリコールのテレビニュースが目にとまりました。ベビーカーの一部が破損することに気付いたある母親がメーカーに伝えたところ、取り合ってもらえず、消費生活センターに連絡して、やっとリコールになったそうです。

このニュースを見て「自立した消費者」の姿がおぼろげながら見えてきたような気がします。「製品事故」「消費生活センターへ連絡する」という知識を持ち、メーカーやセンターへ連絡するという行動を起こした点です。講演会の内容を思い出してみても、宮川さんが振り込め詐欺やアダルトサイトでの請求にひっかからなかった体験談は、またそういうことなのだ気が付きました。

モニターから No.2

「最近の食品の安全について」

昨年の暮れ、冷凍食品の農薬混入事件が発覚しました。新聞・TVで事実が報道されましたが、各販売会社の各冷凍食品が一会社の工場で製造されていること、そして販売会社はその食品に製造会社を明記せず、あたかも自社製品として販売していることに驚きました。これは消費者の信頼を裏切る行為と、強く思いました。賞味期限さえ守っていれば良いと思っているのではないのでしょうか。

今の世の中、販売戦争を勝ち抜くためには最短の販売戦略と思いますが、食の安全を第一として消費者を守るという考え方が欠落していると思います。またその原因究明には、只今消費者庁をはじめとし各関係機関が進めているところですが、年を越して日が経ちますが明らかになっていません。私たちは歯がゆい思いをしています。

この事件こそ、わが消費者庁が先頭に立って解明を率先して主動するとともに、全国の私たちモニターを活用するなどして、今こそ「食の安全」を推進すべきと考えます。こういう事件は一刻も早く解決することが肝要と考えます。

モニターから No. 3

日用品の購入などの支払いは、販売店のポイントカードなどもあり電子マネーが多いです。クレジット払いを利用するのは比較的高額なもので、あとで明細を確認できるようレシートなど保存しています。

それ以外の現金払いにおいても、領収書・レシートを保管し家計管理するようにしています。

モニターから No. 4

「消えた年金」について。

平成24年のある日、日本年金機構土浦支部から返信封筒付きで、年金手帳を送って欲しいと連絡がありました。年金記録に誤りが見つかったとのことでした。今から45年前の東京に本社がある会社で北九州市門司工場に勤務していた時に、子会社の博多工場(1966年5月～1967年3月)に出向していた手当で約1万円が抜けていたことが分かったとのことでした。時効が10年間で、源泉徴収票が5年分送られてきましたが、土浦税務署では3年分しか取り上げてもらえませんでした。

これまで3回ほど「ねんきん特別便」で記録の確認をしてきました。間違いはないとの返事でしたので、正直びっくりしました。

モニターから No. 5

クレジットカード払い、電子マネー払い、それぞれに利点があると思いますが、詳しく分からないので長年の習慣から現金払いだけで済ませています。

モニターから No. 6

日常の食料品や日用品の買い物は、そのスーパー専用の電子マネーでの支払いにしています。支払い金額でポイントが付きますし、割引きもあります。高額の商品を購入した時には、クレジット払いにしています。(現金を持ち歩かないために)銀行の口座を専用に使分けて、買い物をしたらすぐに入金しています。

主人は今も必ず現金で買い物をします。それが、生産者や小売業者や商品に対する消費者の礼儀だと考えているようです。値段通りに現金を払っても「本当にこれを私が貰っても良いのかなあ？」と嬉しそうな不思議そうな顔で言います。

人は一人では生きていけません。昔から、旅は道連れ世は情け・・・と言います。時代が進歩して支払い方法が便利になるほど、大切な感情が無くなっていくようで淋しいです。

モニターから No. 7

基本的に日々の食品の買い物は現金払いにしていますが、電子マネーが使えるところではポイントが貯まるし、また小銭が出ないという利便性から電子マネーを使用しています。それに現金が手元になくても、チャージさえしてあれば買い物ができるので便利です。

高額な買い物にはカードを使用しています。やはりポイントが貯まるということと、現金を持ち歩かなくて済むというのが利点です。ただ、カード払いはお金を払わずにサインひとつで品物が手に入るので、なんだかその時はすごく得をした気持ちになり、後日利用明細が届き使い過ぎに反省することもしばしばです。利用額に応じて付くポイントは「塵も積もれば山となる」で貯

まっていくなのが楽しみのひとつです。最近は公共料金の支払いもカードにしました。

いずれにしても節度を持ち、限度額を決めて使うというのが大事なことだと思います。

モニターから No. 8

私は基本的に現金払いですが、クレジットカードも電子マネーもすべて使用しています。少々金額が高い物の購入時は、クレジットカードを使っています。ポイントが貯まるタイプなので、貯まると値引きや商品交換できます。

電子マネーも某大型スーパーのものだけ使用しています。こちらポイント貯蓄なので、そのスーパーでのお買い物、もしくはその電子マネーが使用できる店は現金がまったく必要ありません。とても便利です。

ただ、クレジットカードも電子マネーも銀行口座から引き落としなので、油断して使いすぎると口座にお金がない・・・というパターンもあるので注意ですね。便利な世の中ですが、やっぱり現金が手元にないと不安です。上手に使い分けることが大切だと思います。

モニターから No. 9

商品の購入をする時の支払い方法としては、3つの方法で行っています。主に通常の日用品・食品・外食等は現金払いにしています。

クレジットカード払いは、手数料なしの1回払いですべてしています。高額な商品やポイントが貯まる店、定期的に購入している商品等の支払いに利用しています。

電子マネー払いはあまり利用していませんが、JRの乗車券・地下鉄等はいちいち切符を購入する手間がいらなくて、とても便利です。駅での買い物もスイカでポンとタッチするだけで便利。はじめは抵抗がありましたが、今では便利に使用しています。

モニターから No. 10

まずは現金購入を基本に考えます。分割払いは考えません。高額商品(工事費、車)も可能な限り現金一括払いを、但し住宅購入は別でした。クレジットカードでの購入は、日用品のストアで3件契約して時々使用します。使用頻度は現金払いのお店と半々ぐらいです。特にこれと言った理由はありません。(小銭支払いがない)

通販での購入にはビザカードですが、購入限度を最小限にしています。これも2回/年ぐらいです。電子マネーは利用したことがありません。

モニターから No. 11

日常の買い物はポイントを貯めて有効活用するために、店舗ポイントがつくクレジットカード、電子マネーを使います。クレジットは一括払。リボルビングが得だというPOPもありますが、数字マジックのようです。ポイントに固執すると“店舗の客取り込み”に乗せられていることになりませんが、ポイント獲得のプラス効果が高いので続けています。

ネット通販は便利でよく利用しますが、ネットでクレジットカードを使うことが不安なので極力避け、専らコンビニで現金払いを利用しています。クレジットしか受け付けないサイトもあるので不便ですが、クレジットカードの不正使用等の事故を考えると積極的にはなれません。現金はほとんど使わなくなりました。

モニターから No. 12

1. 現金での支払い

通常の買い物はほぼ現金で支払う。生活費の支払額の8割くらいは現金払いである。

2. クレジットカードでの支払い

カードで払うとポイントが貯まるものがある。そのカードが使用できる場合は、たとえ少額であっても、また食料品や日用品であってもカードで支払う。但しリボ払いなどは決して利用しないし、預金残高を超える利用はしないので、クレジットではあっても借金にはならない。ポイントは商品券やチャージと交換するので、実質的には割引きと同じ効果がある。

3. 電子マネー

JRのスイカのみ使用している。電車に乗るには非常に便利であるし、自動販売機の使用にも小銭の必要がなく、使い勝手がよいので利用している。オートチャージに設定しておく、いちいちチャージする手間も省ける。これも貯まったポイントをチャージに使うことが出来るので、効率的である。

モニターから No. 13

物品の購入・その他生活関連すべての支払いは、受け取る側が受け取ってくれる限りクレジットカードと決めている。高額の支払いは無制限に、少額は都内の地下鉄や電車の切符までである。そしてすべて領収証を受け取り、領収証は最低10年間保管している。一人暮らしなので、自宅内に現金を置かないように、ポケット・財布にも現金をできる限り持ち歩かないようにという考えからである。

カード支払いは受け付けないなどという店などには行かないし、カードを使えないタクシーには乗らない。開業医とか薬局でクレジットカード払いが受け付けられないところがあるので、財布にはせいぜい1万円未満の現金を入れてある。クレジットカードは財布の中で厚さもなく、スペースを取らないでどんな金額の支払いもできるし、暗証番号で保護されているので他人に使われることはない。

カード会社ではポイント返還があるので、いつの間にか大きな特典となって利用できる。電気・ガス・新聞代等公共料金もすべてカード払いである。こういう支払い方法で、今まで不利益を被ったことはないし、損をしたこともない。

モニターから No. 14

基本的に現金払いです。クレジットカードは3枚持っていますが、使うのはほとんど1枚。1枚は2年目から年会費がかかってしまうので、解約の予定です。急に買いたい物ができた時や、海外旅行の時にカードを使います。通販の購入時はコンビニ支払いが多いです。

これからもカードに頼り過ぎないようにしたいと思っていますが、息子たちはカードが基本のようなので、少し心配です。

モニターから No. 15

買い物をする際の支払い方法は、最近ではいろいろ選べるようになりました。電子マネーが普及し始めると、その便利さから急速に拡大していきました。現金払いは言うまでもなく分かりや

すいですが、常に現金を持ち歩かなくてははいけません。

クレジットカードは誰でも一枚は持っていると思いますが、気が付くと何枚も作って買いすぎてしまうということもあります。そうなると管理が難しくなります。しかしながら、カードひとつでショッピングが出来てしまうので、簡便さから言うとこれに勝るものはないと思います。

電子マネーはお財布代わりに使えてとても便利ですが、常に残高を意識していなくてははいけません。

それぞれ一長一短ありますが、用途に応じて使い分けています。クレジットカードや電子マネーの中には、ポイントを貯めることができるものもあります。そんなメリットを利用するのも、お買い物を楽しいものにする一つの方法だと思えます。しかしながら、クレジットカードも電子マネーもやはり現金と同じです。ひとつ間違えて管理を怠れば、自己破産を招くこともあります。便利な分だけ危険も伴うということをお肝に銘じて、使用していくことが大切だと思えます。

モニターから No. 16

我が家でも、キャッシュレス時代の到来です。信用できる大型店舗、百貨店、大手スーパー、インターネットショッピング、カタログショッピングなどでの商品の購入は(ある程度金額以上の場合)、クレジットカードの利用です。支払い決済の記録が送られてきますし、不正使用の発覚や紛失しても被害を最小限に防ぐことができます。使用する銀行通帳や限度額も決めておきます。

電子マネーの利用は、プリペイド型カードです。交通機関(スイカ、イコカなど)、ガソリン、石油や、大手スーパー(イオン、ヨーカドーなど)の無記名式カードでチャージし、入金額とレシートをチェックしておくことで残高が分かり、小銭や釣銭もいらないので助かります。スーパーの場合、金額や店舗によってクレジットカードと電子マネーを使い分けています。現金払いはJ A、コンビニ、カードの使えないスーパーや店舗、集金人支払いの場合などの利用などに限られています。

モニターから No. 17

ほとんど現金払いですが、クレジットカードを使う時は分割でなく一括払いにします。クレジット払いで買い物をすると、気が大きくなってしまいうように注意します。財布の中身と相談しながら計画を立てた方が、私には向いているようです。

ただし、ポイントがつくものは、残高を確認しながら電子マネーを使います。

モニターから No. 18

基本的には即、現金払いです。月賦や分割はわずらわしいし、利息もかかっているので損だと思うので一切しません。最近はインターネットのネット販売が流行しているようですね。かなり危険な取引ではないでしょうか。気を付けないといけません！

モニターから No. 19

基本的には現金払いを常としていますが、ネット注文やちょっと高額な物の支払いのみカードで済ませます。

電子マネーは利用したことがありません。カードは便利ですが、つつい使い過ぎてしまう心

配があり、余程の事以外使わないよう心掛けています。分割払いのほうがお得な物もありますが、つつい面倒で一括にこだわってしまいます。

使い方によってはカードの方が便利とか、電子マネーの方が便利とかあるのですが、知識不足と現金一括主義へのこだわりで、利用の幅が広がらないのが本当のところでは。

モニターから No. 20

私はほぼ毎日の食品や日用品・ガソリンの支払いにクレジットカードを利用しています。ポイントを貯め、割引きなどの特典の知らせなど楽しみがあります。但しカードで支払いの時は、必ずその使ったレシートの金額を利用カード別の袋に入れ、請求書が届いたら入金しています。大きな商品もそのようにしているので、衝動買いなどせず計画的にカードを利用しています。

また、レシートもずっととってあるので、何か問題があって返品する時や、よく買う価格の把握もでき便利です。

モニターから No. 22

ネットで購入する時はクレジット払いになるが、一般商店で購入する時は現金を使う。電子マネーはE d d yを持っているが、使える店が少ないのであまり使わない。クレジット決済の場合、明細を後日確認できるように、ネットで購入した商品の内容をプリントアウトしておくことにしている。クレジット決済は便利であるが、購入したことを忘れることがあるので注意して使っている。

モニターから No. 23

12月22日にキャスターの宮川俊二さんを講師に招いた消費者教育・啓発講演会に参加した。印象に残った話は、振り込め詐欺の電話がかかってきた、ワンクリック詐欺の被害に遭いそうになった、そんな自分の実体験を身近な人に話してほしいというものだった。話の内容を細かくリアルに伝えるのがポイントで「私にも電話が来るかも。同じようなことがあるかも」と「手口」の情報を伝えることが、地域が被害に遭うのを未然に防ぐことにつながっていくという話に心強さを感じた。

そのためには「人とのつながり」が大事だと思い、私ができることは普段からいろいろな話がしやすい信頼関係を周りの人と作って、コミュニケーションを取ることとと思った。

モニターから No. 24

あらためて商品の支払い方法を考えてみると、いくつかに分けてやっています。

○クレジットカード払い

それほど多くないので、ポイント数不足で楽しみが無効になる時があります。利用料金明細書は毎月必ず確認します。

○コンビニ収納代行

取引先の信用性を必ず確認します。

○銀行口座引き落とし

公共料金、定期お届け等ですが、これも時々通帳のチェックをしています。

○現金払い

食料品・日常のちょっとした買い物は現金払いです。実際に商品を手にとって確かめながら買い物できるので、私としては一番安心できる支払い方法です。

○電子マネー払い

上手に使いこなせないのが、危険な気がして利用できません。

【センターより】

○モニター通信の提出は隔月の間隔でお願いしていますが、第6回モニター通信（テーマ：「健康食品を利用していますか」）については、2月28日（金）とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○3月6日のモニター研修会について出欠のご連絡をされていない方は、センターまでお願いします。

「消費者モニター研修会」

テーマ／「失敗しない住宅リフォーム」

と き／3月6日（木） 午前10時～午前11時30分

と ころ／亀城プラザ学習室

内 容／どんなところに注意してリフォームをお願いすればいいのか、よい業者の選び方などをご紹介します

講 師／建築Gメンの会

※当日ご持参いただくもの

①印鑑（報酬のお受け取りの認印）

②モニター通信（全6回のうち、未提出分がある方）

○平成26年度の消費生活モニターを募集中です。

来年度も継続して、モニター活動を希望される方は、電話またはモニター通信にて、その旨をセンターまでご連絡ください。